

# 人工林の間伐により下草の生える環境を整えた事例

事業名 環境貢献林事業

市町名 福山市

## 取組のきっかけ・経緯

・森林所有者から、手入れができず放置された森林の整備について相談を受け、本事業を実施することとなった。

## 今後の展開

公益的機能を持続的に発揮するために継続して森林管理を行う必要がある。

## 取組の内容

- ・事業主体： 広島県東部森林組合
- ・実施場所： 福山市加茂町
- ・業務量： 3.18ha
- ・業務金額： 1,072,300円
- ・実施期間： 令和6年3月18日  
～令和6年3月30日

## 取組後の感想

### 【良かった点】

手入れがなされず放置された森林を整備し、下層植生を回復させる環境づくりを行うことができた。

### 【整備前】



### 【整備後】



# 住宅団地内の景観伐採を行った事例

事業名 里山林整備事業(環境改善型)

市町名 福山市

## 取組のきっかけ・経緯

・事業地の山林は、住宅団地内に位置し、これまで森林所有者ができる範囲で除伐等を行ってきたが、維持管理が困難になってきたことから、景観改善や鳥獣被害防止のための森林整備の依頼があった。

## 今後の展開

・所有者及び団地内の住民等が、定期的に草刈り等の整備を行い、景観維持に努める。

## 取組の内容

- ・事業主体： 広島県東部森林組合
- ・実施場所： 福山市明王台
- ・業務量： 整備面積 0.44ha
- ・業務金額： 3,591,000円
- ・実施期間： 令和6年3月4日  
～令和6年3月30日

## 取組後の感想

### 【良かった点】

- ・整備により、景観がよくなり、見通しが良くなった。
- ・鳥獣(イノシシ)の隠れ場所になっている可能性があったが、整備により、出没防止につながった。

### 【整備前】



### 【整備後】



# 住民主体の森林整備に向けた環境整備を行った事例

## 事業名 地域資源保全活用事業

## 市町名 福山市

### 取組のきっかけ・経緯

- ・事業地の山林一帯は、権現の森と呼ばれ、古くから地元の方や参拝者に親しまれてきたが、平成30年豪雨により散策道が寸断された。
- ・当地区では、町内会が構成員となって、主体的に森林保全活動を行っており、本事業をきっかけに、住民の参加と連携による地域活性化を図りたいとの要望があった。

### 今後の展開

- ・急勾配となった歩道箇所が多くあり、階段工事や転落防止の踊場スペース、手摺などを設置する。
- ・町内会の総会等で事業内容を報告し、住民が主体となって、下刈り等の森林整備を行っていく。

### 取組の内容

- ・事業主体： 権現の森整備実行委員会
- ・実施場所： 福山市駅家町服部本郷地区
- ・業務量： 歩道整備 428m
- ・業務金額： 3,216,000円
- ・実施期間： 令和5年8月1日  
～令和5年12月31日

### 取組後の感想

#### 【良かった点】

- ・歩道整備により、周辺の雑木林の除伐や下刈り作業がとて楽になった。
- ・これまでは散策道が寸断され通ることができなかったが、歩道整備により、頂上の権現神社に正月初詣で参拝することができるようになった。

